

国立映画アーカイブ教育普及企画 **子ども映画館 2026年の夏休み★開催のお知らせ**

7月24日(金) - 25日(土)、7月31日(金) - 8月1日(土)



平素よりお世話になっております。国立映画アーカイブでは、毎年夏に開催している「子ども映画館」を、本年も開催します。

「子ども映画館」は、子どもたちが映画館に集まり、みんなと一緒に大きなスクリーンを見つめる映画体験ができる企画で、上映前には作品の紹介や映画フィルムについての解説なども実施します。映画という文化芸術の素晴らしさを大画面で体験することで、豊かな情操と高い映像理解能力（リテラシー）を育むことを目的としています。本企画の周知へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

**★ふしぎな世界を旅するアニメーションや最初のゴジラ、活弁・伴奏付の無声映画等幅広くラインナップ**

前半2日間は、本の中の世界を旅する兄妹を描いた『**バベルの本**』や、海底から天空まで逃げた鰻と追いかけてくるミュージカルコメディ『**てまのどらやん**』など、ふしぎな世界を旅するアニメーション短篇集と、誕生から70年以上を経て今なお人気を轟かせている日本発の怪獣の原点、1954年の『**ゴジラ**』を上映。

後半2日間は活弁・生演奏つきで、蒸気機関車が大活躍で鉄道好きにも嬉しい、喜劇王バスター・キートンの『**キートン将軍**』や、社会性のあるテーマを盛り込みながらも、無邪気な子どもたちと可愛い犬との交流が楽しい『**明日天気になあれ**』といった無声映画をお届けします！

**★映画にちなんだプレゼントのほか、映画の思い出を残せる「映画きろくノート」をプレゼント！**

お子さんにはフィルムでできたしおりや、視覚玩具ソーマトロップのキットのほか、映画鑑賞ノート「**映画きろくノート**」をプレゼント！「映画きろくノート」に使用されたイラストは、CGクリエイターのにじたろう氏による、当館オリジナルのデザインとなっています。映画を観るだけでなく、映画を観終わった後も、作ったり考えたりしながら映画の魅力をも更に深堀りしていただけるプレゼントをご用意しました。

**★上映作品に関連したロビー展示にも注目！**

子ども映画館は、毎年ロビーに手作りの飾りつけをしてお客様をお迎えしていますが、今年は更に、上映作品のポスターのほか、『**バベルの本**』のアニメーション制作時に使用されたオブジェも展示。上映当日のみの展示となりますので、お見逃しなく！※上映作品によって、ポスター等の展示がない場合もございます。



『バベルの本』



『キートン将軍』



『ゴジラ』

■プログラム \*各回、研究員による解説付き 各日 14:00 開始

7月24日(金) ふしぎの旅に出かけよう!

- 『バベルの本』(1996年/日本/演出、アニメーション、美術:山村浩二/5分/カラー)  
 『ちんころ平平 玉手箱』(1936年/日本/作画:大藤信郎/8分/白黒)  
 『てんまのとらやん』(1971年/日本/監督:中村武雄、河野秋和/17分/カラー)  
 『プッシュ』(1987年/日本/原案、構成、演出、作画:手塚治虫/4分/カラー)  
 『雪の女王 THE SNOW QUEEN』(1978年/日本/監督:渡辺和彦/20分/カラー)



『バベルの本』



『キートン将軍』

7月25日(土) 最初の『ゴジラ』ってどんな映画なの?

- 『ゴジラ』(1954年/日本/監督:本多猪四郎/97分/白黒)

7月31日(金) 機関車が大かつやく。鉄道好きあつまれ

- 活弁・生演奏付き上映  
 『キートン将軍』(1926年/アメリカ/監督:バスター・キートン、クライド・ブルックマン/79分/白黒/原題:  
 The General)



『明日天気になあれ』

8月1日(土) ぼくのペットがいちばんさ!

- 活弁・生演奏付き上映  
 『明日天気になあれ』(1929年/日本/監督:島津保次郎/61分/白黒)

7月31日・8月1日の活弁・生演奏出演者

弁士:尾田直彪(7月31日)、山内菜々子(8月1日)



尾田直彪



山内菜々子

楽士:坂本真理(シンセサイザー)(7月31日)、  
 忍田結梨(指揮、フルート)、島田湧真(ピアノ)(8月1日)



坂本真理



忍田結梨



島田湧真

■開催概要

※**こども(高校生以下)**の引率・付添ではない大学生以上の方のお申込はお断りしております。

企画名:こども映画館 2026年の夏休み★

会場:国立映画アーカイブ 小ホール(地下1階)

日時:2026年7月24日(金)-25日(土)、7月31日(金)-8月1日(土) 各日14:00開始

定員:151名(全席自由)

\*7月3日(金)16:00より開映15分前まで販売。定員に達し次第締切。詳細はウェブサイトをご覧ください。

料金:中学生以下 無料/高校生 310円/付添(一般)520円/付添(大学生・65歳以上)310円

本企画ウェブサイト:<https://www.nfaj.go.jp/event/kids-cinema2026/>

掲載用のお問い合わせ先:050-5541-8600(ハローダイヤル)

「こども映画館 2026年の夏休み★」はAdobe Foundationの支援を受けています。

スチル等、本企画に関するお問い合わせ先:

国立映画アーカイブ こども映画館担当(担当:玉田、金)

電話:03-3561-0823 E-mail:pr@nfaj.go.jp